

# BRADY-BBP<sup>®</sup>12 Windows ドライバインストールガイド

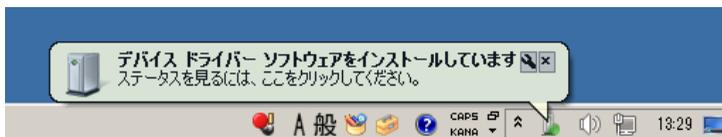
## はじめに

このドキュメントは Windows プリンタドライバのインストール手順を説明します。ドライバに関するよくある質問と回答はドライバに付属のヘルプファイル(英文)を参照してください。ヘルプファイル(英文)にはトラブルシューティングセクションも含まれています。

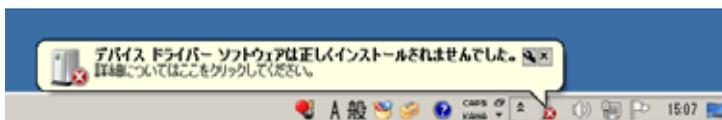
ドライバにはドライバのインストール、削除、更新を実行する**ドライバウィザードユーティリティ**が含まれています。Windows 標準のプリンタ追加ウィザードが常に適切に既存のドライバを更新するわけではないので、この**ドライバウィザード**を使用してください。

## インストール手順

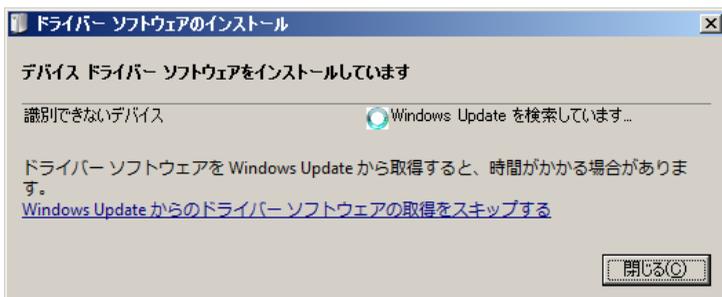
1. プリンタの電源をオフにした状態でケーブルを接続し、それから電源をオンにします。
2. Windows ハードウェア追加ウィザードが自動的にプリンタを検出し、デバイスドライバーソフトウェアのインストールが実行されます。



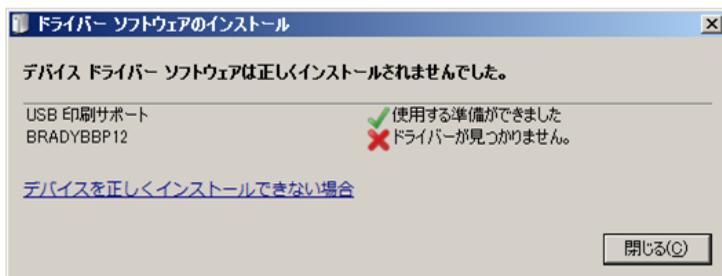
上記のアイコンをクリックせずに、しばらくすると、ドライバーが見つからずに終了します。



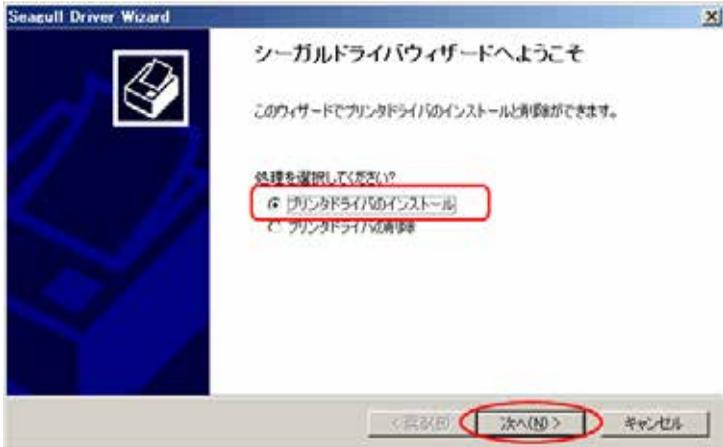
前述の「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」アイコンをクリックした場合、下記のステータスが表示され、



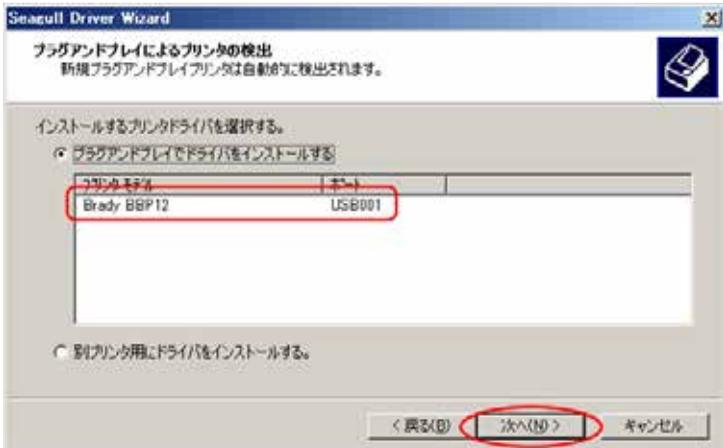
そのまましばらくすると、下記の表示のように、ドライバーが見つからずに終了します。



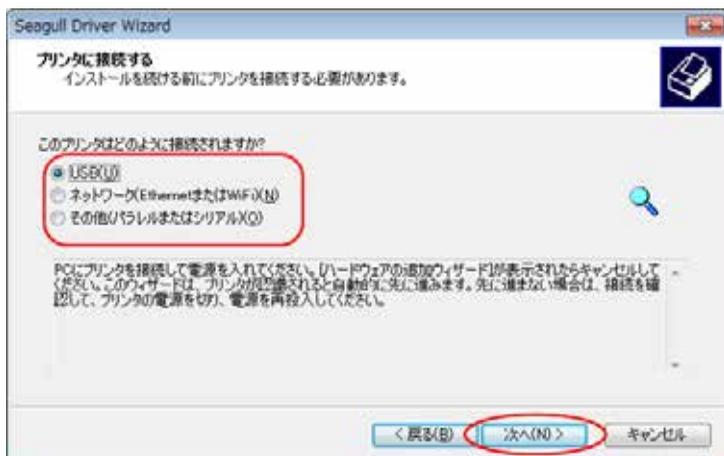
3. CD 内の Driver フォルダからドライバウィザードユーティリティ (DriverWizard.exe)を起動します。



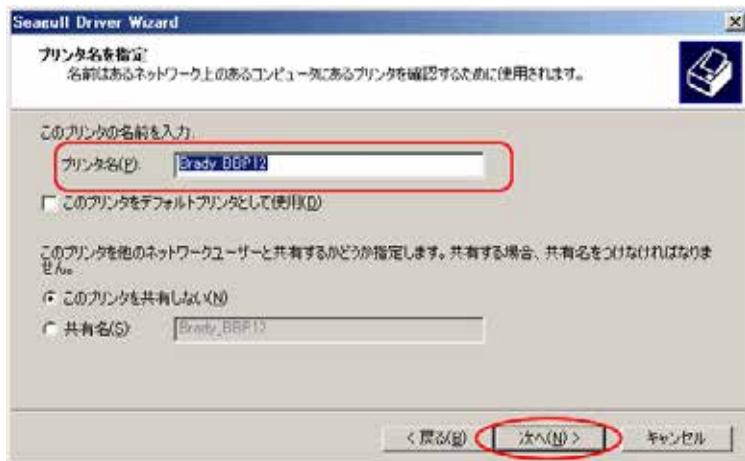
4. 「プリンタドライバのインストール」を選択してウィザードに従って進めます。
5. プリンタと接続され、プリンタの電源が入っている状態の場合は、「プラグアンドプレイでドライバをインストールする」に該当モデルが表示されるのでそれを選択し、<次へ>ボタンをクリックします。



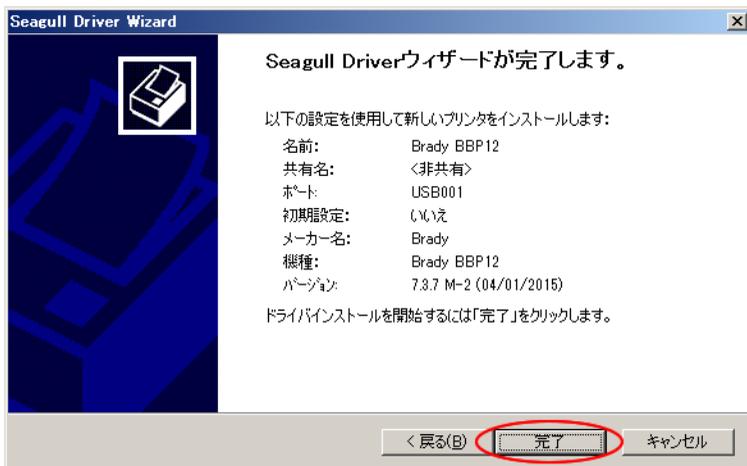
(電源が入っていない、またはプリンタと接続されていない場合は、ポートおよびモデルをリストから探し出す必要があります。)



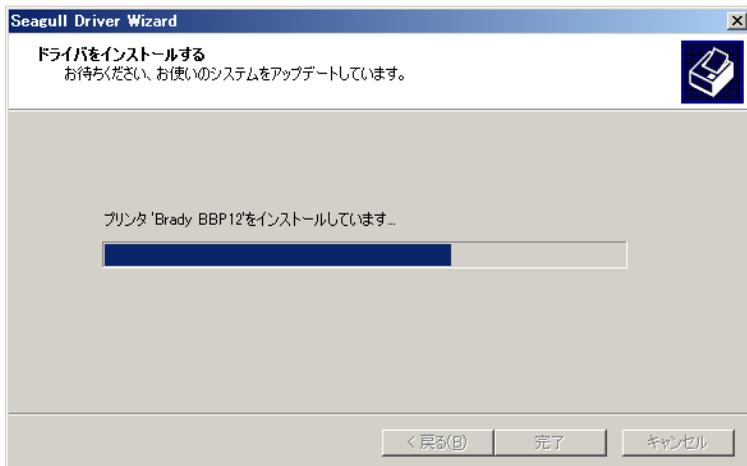
6. <次へ>ボタンをクリックしてウィザードを進めます。



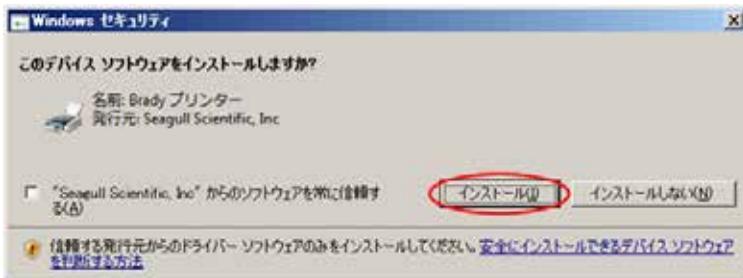
7. 「ウィザードが完了します。」の画面で、<完了>ボタンをクリックします。



8. ドライバがインストールされます。



インストールの確認画面では、<インストール>ボタンをクリックします。



9. 「ウィザードが正しく終了しました。」の画面で<閉じる>ボタンをクリックします。



再起動が要求された場合は、再起動してください。再起動後にインストールが完了します。

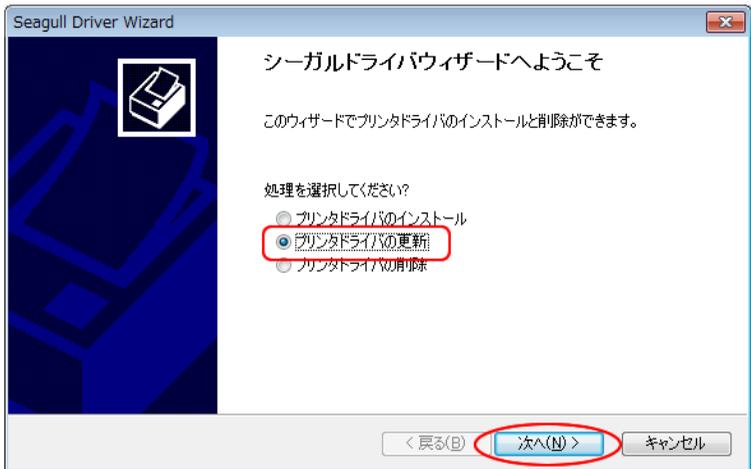
再起動後に再びハードウェアが検出されることがありますが、インストールが完了するまで、そのままにしてください。インストールが完了すると自動的に消えます。

## プリンタドライバを更新するには

既存のプリンタを更新するためにドライバウィザードユーティリティを使用します。

Windows 標準のプリンタ追加ウィザードのご使用はお勧めいたしません。(標準のプリンタ追加ウィザードは、不正な状態でドライバを残し、すべてのドライバを正しく更新できないかもしれません。)

1. CD 内の Driver フォルダからドライバウィザードユーティリティ (DriverWizard.exe)を起動します。
2. 「**プリンタドライバの更新**」を選択して<次へ>ボタンをクリックします。

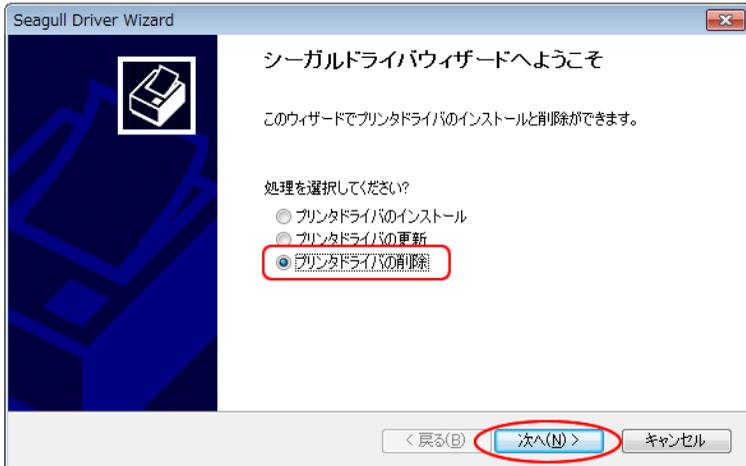


3. 更新するドライバを選択して<次へ>ボタンをクリックします。
4. 「ウィザードが完了します。」の画面で<完了>ボタンをクリックします。
5. ドライバが更新されます。
6. 「ウィザードが正しく終了しました。」の画面で<閉じる>ボタンをクリックします。  
再起動が要求された場合は、再起動してください。再起動後に更新が完了します。

## プリンタドライバを削除するには

システムからプリンタドライバを削除するためにドライバウィザードユーティリティを使用します。 Windows の「デバイスとプリンター」からは削除しないでください。

1. CD 内の Driver フォルダからドライバウィザードユーティリティ (DriverWizard.exe)を起動します。
2. 「プリンタドライバの削除」を選択して<次へ>ボタンをクリックします。



3. 削除の処理を選択します。  
選択した処理によりウィザードが異なりますので、ウィザードに従って進めます。
4. 「ウィザードが完了します。」の画面で<完了>ボタンをクリックします。
5. ドライバが削除されます。
6. 「ウィザードが正しく終了しました。」の画面で<閉じる>ボタンをクリックします。  
再起動が要求された場合は、再起動してください。再起動後に削除が完了します。

## 印刷問題に関するトラブルシュート

プリンタドライバからアクセス可能なヘルプファイル(英文)には *Troubleshooting* セクションがあり、*Troubleshooting Printing Problems* と呼ばれるサブセクションが含まれています。このセクションはチェックすべき重大な設定と通常行う印刷テストをリストし、トラブルに 遭遇した場合に素早く対応することができます。

## BRADY-BBP<sup>®</sup>12 Windows ドライバ設定

### 用紙情報作成時の注意点

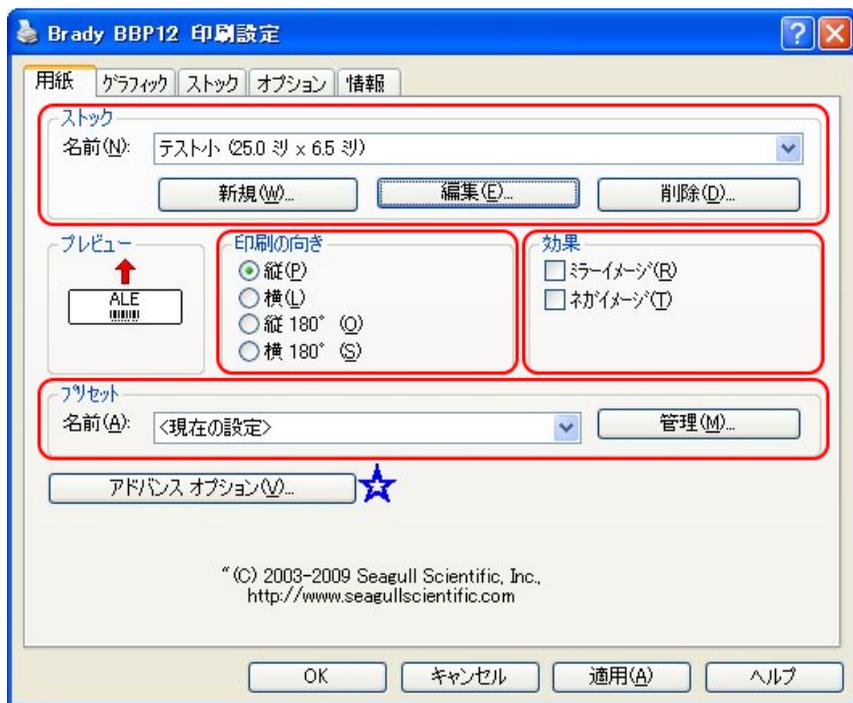
用紙情報を追加して運用することを基本としてください。

フリーサイズ (USER) は不具合が出る可能性を否定できませんので使用は極力避けてください。

左右のマーヅンは入力せず、実際の用紙幅をドライバ上のラベル幅として定義してください。

上下 (縦方向) のマーヅン (ギャップ) は用紙情報には入れません。ギャップ値は [ストック] タブの「用紙設定」で定義します。

## 用紙タブ



- ・ [新規]ボタン  
用紙情報を新規に作成します。  
「スタックを編集」ダイアログボックスが表示されます。
- ・ [編集]ボタン  
選択している用紙情報に修正を加えます。  
「スタックを編集」ダイアログボックスが表示されます。
- ・ [削除]ボタン  
選択している用紙情報を削除します。

- ・ [印刷の向き]ボタン

縦/横指定、および頭出し/尻出し指定します。左横のプレビュー欄で確認できます。

- ・ [効果]

ミラーイメージ(左右反転)、ネガイメージ(白黒反転)を指定します。

- ・ [プリセット]

各設定を予め保存しておき、実際に用紙定義を行う時に簡単に呼び出せる機能です。

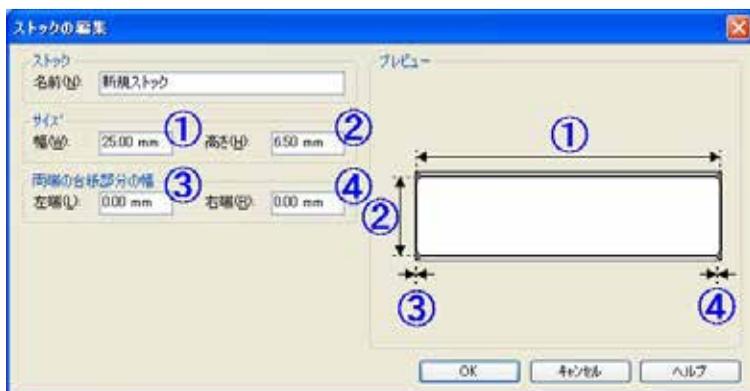
[ストック]タブの「印刷後操作」に悪影響を与えるので使用しないでください。

- ・ [アドバンスオプション]

「拡張機能」ダイアログボックスを表示します。

## 用紙設定

[新規] ボタン、[編集] ボタンにより表示される「ストックを編集」ダイアログボックスで用紙設定を行います。



- ・ [サイズ - 幅]: 実際のラベルの幅+実際の左右のマージン (=用紙幅)
- ・ [サイズ - 高さ]: 実際のラベルの高さ(ギャップを含まない)
- ・ [両端の台紙部分の幅 - 左端]: 左マージン = 0
- ・ [両端の台紙部分の幅 - 右端]: 右マージン = 0

左右のマージンは「0」(ゼロ)とし、用紙の幅全体をラベル幅としてください。実際のラベル幅、左右マージンは CODESOFT 側で定義します。

(左右マージンを0とするのは、このドライバが左右のマージンが等しいラベルを前提としており、用紙に対して左右のどちらかに偏った面付けとなっているラベルの場合に印刷できないエリアが生成されるのを防ぐためです。)

## 拡張機能ダイアログ



- ・ [位置調整 - 左右オフセット]  
横方向の印刷位置を調整します。
- ・ [位置調整 - 縦方向位置調整]  
縦方向の印刷位置を調整します。

## グラフィックタブ

使用しません。

## ストックタブ



- ・ [用紙設定 - 方式]

熱転写/感熱紙を指定します。

「現在のプリンタ設定を使用」は使用せず、熱転写/感熱紙のどちらかを明示的に指定してください。

- ・ [用紙設定 - 種類]

ラベル種(ギャップ/裏マーク/連続紙)を選択します。

・ [用紙設定 - ギャップ高さ]

ギャップの高さを指定します。必ず指定してください。

0 にすると上で選択された用紙設定の種類にかかわらず連続紙となります。

・ [用紙設定 - ギャップ補正]

特殊形状(四角形でない)のラベルの場合に使用します。

・ [用紙の処理 - 印刷後操作]

用紙送りモードを指定します。(なし/手切り/剥離/カット/部分カット)

「部分カット」は使用しないでください。

・ [用紙の処理 - カット動作]

操作が「カット」、「部分カット」の時のみ有効です。

○ 各ページ後:1 枚ごとにカットされます。

○ 同一ラベルコピー後:CODESOFT の「ページの複写枚数」で指定した値の後にカットされます。

(例)2 面付けラベルの場合

【コピーなし、4 枚印字】

1      2

カット

3      4

カット

・【ラベルコピー = 2、4枚印字】

1 1

カット

2 2

カット

3 3

カット

4 4

カット

・【ページコピー = 2、4枚印字】

1 2

1 2

カット

3 4

3 4

カット

- ジョブの最後: Zebra 系プリンタの「最後のページでカット」と同じです。
- 指定の間隔後: 下の「カット間隔」で指定された枚数毎にカットされます。  
Zebra 系プリンタの「カットせずに印刷する枚数」と同じです。

- ・ [用紙の処理 - カット間隔]

操作が「カット」、カット動作が「指定の間隔後」の時のみ有効です。カットせずに印刷する枚数を指定します。

- ・ [用紙の処理 - 用紙送り]

ラベル内のオブジェクトの印字位置は動かさずに、カット位置、剥離位置を移動します。

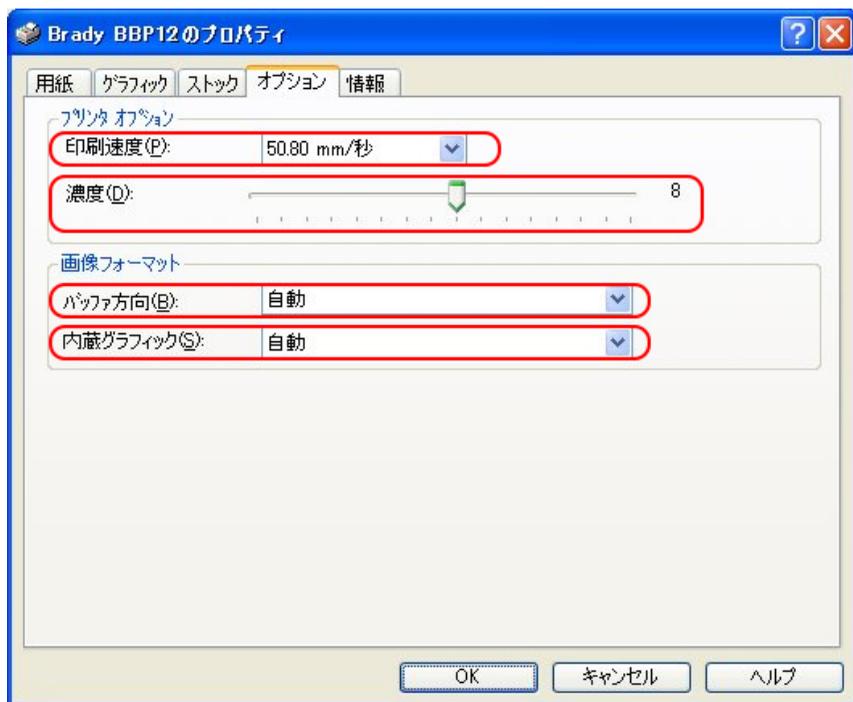
ラベルに対する印字位置は正しいが、もう少しカット(剥離)位置をずらしたい場合に使用します。

- ・ [位置調整 - 縦方向位置調整]

カット位置、剥離位置も含めて、印字オブジェクト全体を移動します。

まずはこのオプションで正しい位置に印刷されるように調整し、その後、上の「用紙送り」オプションでカット位置、剥離位置を移動して調整します。

## オプションタブ



- ・ [プリンタオプション - 印刷速度]

2、3インチ/秒で指定します。

4インチ/秒もリストされ、選択することができますが、3インチ/秒で印刷されます。

- ・ [プリンタオプション - 濃度]

0～15で指定します。

- ・ [画像フォーマット - バッファ方向]  
「自動」で使用してください。
- ・ [画像フォーマット - 内蔵グラフィック]  
「自動」で使用してください。

## CODESOFT<sup>®</sup>側の設定

Windows ドライバを使用する場合は、

1. ドライバ側では用紙幅全体をラベル幅として定義する（左右のマージンは0とする）
2. その用紙情報を使用する（フリーサイズ、USER サイズは使用しない）
3. CODESOFT<sup>®</sup>側では実際のラベル幅、左右マージンで設定する

ことを基本としてください。

### 上下マージンは入れてはいけない

マージンがあると印字位置、カット(剥離)位置が合わなくなります。

### 左右マージンは入れなくてはいけない

マージンがないと印字範囲(X軸方向)が縮みます。

以上

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。